

火葬業務職員募集

- 募集人数** 若干名
業務内容 し尿処理施設・ごみ焼却施設・ごみ資源化施設・火葬場施設の運転業務及び現場作業従事（主に火葬業務となります。）
採用期日 平成26年8月1日採用予定（見習い臨時職員期間あり）
受験資格 高校卒業程度以上、45歳未満の者（平成26年4月1現在）、普通自動車運転免許を有すること
試験の方法 書類審査・作文及び面接試験
試験日時 平成26年4月25日（金）午後1時30分～ 下仁田町役場
給 与 甘楽西部環境衛生施設組合条例による
受験申込手続き及び受付期間

(1) 申込手続き

市販の履歴書用紙に必要事項を記入（写真を貼付）の上、作文を添付し事務局に提出。（郵便不可）
（作文は、原稿用紙に自書で、志望理由、自分の信条、職業観、自己PR等について、400字程度で記載してください。）

(2) 申込受付期間

平成26年4月1日（火）～平成26年4月18日（金）までの土曜日、日曜日、を除く午前8時30分から午後5時15分まで

(3) 受験票の送付

予め書類審査を行い、面接試験者には試験の5日前までに受験票を発送

問合せ先 甘楽西部環境衛生施設組合 ☎64-8811

下仁田まちづくり委員会 会員募集

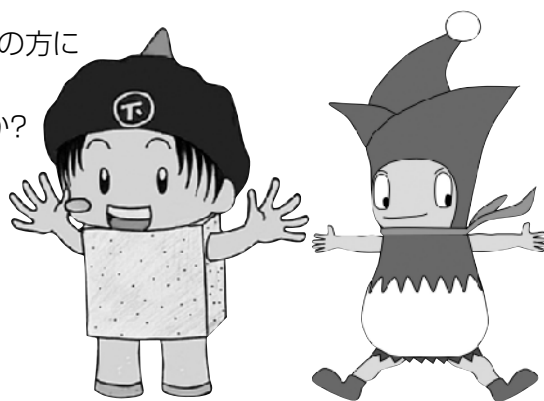
下仁田町を一緒に盛り上げよう!

大好きな下仁田町、この町の良い所や隠れた魅力を発見し、多くの方に下仁田へ来てもらおう。

そんな気持ちをお持ちの方、私たちと一緒に活動してみませんか?

年齢・性別は不問!

- 活動内容** 下仁田へ行ってんべ～祭 1回/年
月例会議 1回/月
会 費 1,000円/年
問合せ先 委員長 黒澤雅史 ☎090-8596-3303



訓練生募集

高崎市山名町の職業訓練校で訓練生を募集します。授業料は無料。求職中で就職を希望する方が対象です。

- 募集訓練コース** ・CAD/NC技術科
・機械加工エンジニア科（若年者向けコース）
・電気設計技術科（若年者向けコース）

募集期間 平成26年4月1日（火）～平成26年5月9日（金）

申込み先 各公共職業安定所

問合せ先 （独）高齢・障害・求職者雇用支援機構 ポリテクセンター群馬訓練課 ☎027-347-3736

※毎週火曜日13時より見学会を実施しています。（申込み不要）

臨時職員募集

町教育委員会では、臨時職員を募集します。

業務内容 資料整理及びパソコンデータ作成等
募集人員 1名
応募資格 ワード・エクセル等のパソコン操作ができる人
採用期日 平成26年5月から6カ月間
勤務時間 9時から15時までの5時間勤務
(土・日・祝日休み)
勤務場所 旧小坂小学校及び町教育委員会事務所
賃金等 町臨時的任用職員賃金支給要領による
申込期限 4月16日(水)
申込方法 市販の履歴書に必要事項を記入(写真添付)の上、教育委員会教育課学校教育係に提出
面接日 別途連絡します
問合せ先 教育課学校教育係 電話82-2115(内線712)

業務内容 荒船風穴の解説業務及び管理運営に関する補助(月15日程度)土・日・祝日勤務有り
募集人員 2名
採用期日 平成26年4月20日から6か月(予定)
申込方法 市販の履歴書用紙に必要事項を記入(写真添付)し、教育委員会文化財保護係(事務所:ふるさとセンター)に提出してください。(郵送不可)
申込期間 平成26年4月1日(火)から4月10日(木)までの8時30分から午後5時15分まで
面接日 後日連絡します
問合せ先 ふるさとセンター ☎82-5345

原爆や平和について考えてみませんか?

～長崎へ平和の取材「親子記者」参加者募集～

8月9日の長崎原爆の日に親子での取材をとおして、原爆や平和について考えてみませんか?

対象 下仁田町にお住まいの小学生とその保護者で平和・原爆・核兵器廃絶などに興味をお持ちの方。

実施期間 8月8日(金)～11日(月)【長崎市泊3泊4日】

*長崎滞在中、原爆犠牲者慰霊平和記念式典等の被爆地の様子や被爆者への取材をしていただきます。

定員 全国の対象自治体から18人【小学生(4年生以上)1人とその保護者1人の9組】

参加費 長崎市への交通費、宿泊代、滞在中の取材補助経費は支給します。

応募方法 ハガキまたはEメールで次の事項を書いてお送りください。①住所 ②参加者の氏名(ふりがな)・性別 ③小学校名、学年 ④電話番号(昼間連絡のつくもの) ⑤保護者の氏名(ふりがな)・性別 ⑥平和を願う一言メッセージ

*当協議会ホームページから、Eメールでもご応募いただけます。http://www.nucfreejapan.com

問合せ先 〒852-8117長崎県長崎市平野町7-8、長崎市平和推進課内日本非核宣言自治体協議会事務局
☎095-844-9923 Eメールアドレス info@nucfreejapan.com

申込期限 5月9日(金)当日消印有効

その他 カメラなど取材に用いる道具は参加者自身でご用意ください。

*応募者多数の場合は抽選を行い、発表は当選者にのみに通知いたします。

第8回桜茶会開催

今年も早いもので、桜の季節となりました。

いちえの会主催による「桜茶会」を今年も開催いたしますので、お気軽にお出かけください。

抹茶を飲みながら日本の伝統、文化、美しさを皆様と一緒に味わってみてはいかがでしょうか。

着物で参加された方には粗品をご用意しております。

日時 4月12日(土)正午から午後3時頃まで

会場 山際公園内・山際会館

参加費 無料



国保人間ドック受診者の募集



- 受診期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日
- 実施機関 下仁田厚生病院
- 対象者
 - ①国保加入者で国保税を完納している世帯の方
 - ②保健センターで行う特定健診(集団健診)を受診しない方
 ※注意 年度内に1回です。

●費用・募集人数

区分	費用	個人負担	国保負担	募集人数
1日ドック(日帰り)	34,560円	8,640円	25,920円	135人
短期ドック(1泊2日)	63,720円	15,930円	47,790円	25人

●主な検査内容

診察(内科)、心電図、胸部レントゲン、胃カメラ、超音波、血液検査、腹囲測定など
(短期ドックは、大腸ファイバー及び血糖負荷検査が加わります)。

●同意事項 国保加入者の健康維持のため、人間ドックの申込を受け付けます。

国保人間ドックを受けた方は、国保特定健診を受診したこととします。また結果によっては、保健センターで行う特定保健指導の対象となります。(別途通知)

●申し込み先 下仁田厚生病院 ☎82-3555

後期高齢者医療保険 人間ドック受診者募集

後期高齢者医療被保険者の方の人間ドック受診者を募集します。
町の国保と同様に下仁田厚生病院限定になります。

- 受診期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日
- 実施機関 下仁田厚生病院
- 対象者
 - ①「後期高齢者医療被保険者証」をお持ちで後期高齢者医療保険料を完納している方
 - ②保健センターで行う健康診査(集団健診)を受診しない方(重複受診はできません)
- 募集人員 日帰りのみ 50人(定員になり次第締め切ります)
- 自己負担額 8,640円(費用総額34,560円、助成金額25,920円)
- 申し込み先 下仁田厚生病院 ☎82-3555



ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館(ジオパーク推進室)
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

行事予定 『秋葉山祭り』

日時 4月27日(日) 7時集合出発
場所 馬居沢簡易水道施設付近
内容 石仏などの説明を受けながら秋葉山に登ります。
秋葉山は険しい岩山なので、適した服装等でお越しください。
申込み ジオパーク推進室 ☎70-3070
※土日祝日も受付けます。必ずお申し込みください。



▲石造物

ネギとコンニャク・ジオパーク 山岳信仰の山『秋葉山』

※不動明王と三十六童子

秋葉山から下りた林道脇には不動明王像四体が祀られています。不動明王を崇拝するのも御嶽教の特徴のひとつです。

この不動明王から秋葉山に向かっての道沿いには三十六童子が祀られています。欠番はありますが、多くの童子石造物を見ることができます。三十六童子は不動明王の眷属(けんぞく)です。{※眷属:従者、家来}

※名馬磨(する)墨(すみ)伝説

源頼朝の愛馬「磨墨」に関する伝説は下仁田町や富岡市に残っています。富岡市原には足跡が残り、馬山の黒内山で育ったことなどが語り継がれている。この地、馬居沢にも観音寺の西方の山の中腹にある岩に磨墨の足跡が残っているとのことです。

※山の名について

秋葉山の尾根続きに『ごしゅうざん』と呼ばれる山があります。山の看板には「仏岩山」と記されており、登山地図などには「至仏山」などと記されていることもあります。以前、馬居沢出身の方に聞いた話では「見晴らしの良い山で上州・武州・甲州などが見えることから五州山だと父から聞いている」と言う話を思い出しました。登ってみるとこの由来が正しいように思えます。「仏岩山」も「至仏山」も石造物の多さや信仰の山から付けられた当て字のように思えます。この山の他にも地元の呼び名と登山地図などの呼び名が違う山が見受けられます。山々にはそれぞれの伝承があり、出来れば地元の呼び名を反映させてもらいたいものです。それが地域の歴史の伝承につながるひとつとなるからです。

(下仁田町歴史研究会発表会資料より抜粋)

※秋葉山のアカヤシオ

甘楽地区の方言名はヒトツバナまたはサクラツツジと呼んでいる。ヒトツバナとは小枝に花を一つ付けるところから、サクラツツジとは、花が淡紅色をしているところからそれぞれ名付けられた名前である。山地の岩場や尾根一帯に開花する様は見事なものである。花期は4~5月。枝先に5枚の葉をつける。アカヤシオは、一名アカギツツジとも呼ばれ、関西から四国、九州に自生するアケボノツツジの変種である。(くりっぺ 第30号より抜粋)



▲三角穴



▲三角穴からの景色



※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています。ぜひお出かけください。

問い合わせ先 下仁田町自然史館(ジオパーク推進室) ☎70-3070

「糖尿病」

下仁田厚生病院

副院長 正田純史

糖尿病とは

糖尿病は疫学的には人口の約5%、950万人(予備軍を含めると2050万人)の潜在患者が存在します。様々な行政による保健活動が行われていますが、高齢化にともなって患者数が増加してきました(図1)。

糖尿病の原因は、膵臓から分泌されるインスリンの働きが悪くなっているため、人間のエネルギー源(車で言えばガソリン)であるブドウ糖がうまく利用できなくなることです。そのため、血液の高血糖状態が持続し、様々な合併症が起ってきます。

節約遺伝子と糖尿病

糖尿病が増加する理由の説明に節約遺伝子説という考え方があります。私達の祖先である現世人は15〜20万年前、地球上に出現しました。以来、狩猟・採集の生活をしてきたため、いっ食べ物が手に入るかわからないので、摂取したエネルギーを効率よく体内に取り込んで貯えることにより、飢餓に備えて生存に有利な仕組みを体内で働かせていました。この仕組みをコントロールするのが節約遺伝子です。現在のよ

糖尿病の合併症

糖尿病の直接の合併症は、細小血管障害で、「糖尿病性網膜症」、「糖尿病性腎症」、「糖尿病性神経障害」が糖尿病の三大合併症です。

糖尿病性網膜症は成人の失明原因の第1位で、糖尿病と診断された方は最低年1回必ず眼科医の診察を受ける必要があります。

糖尿病性腎症は、透析導入原因の第1位です。透析は週2〜3回、1回3〜4時間かかる治療で患者さんの生活に制限が生じます。

糖尿病性神経障害は、手足のしびれ、立ちくらみなどの症状が始まり、進行すると壊疽を起し足の切断が必要になることもあります。

しかし、最近の調査で、糖尿病をしっかりと治療し血糖値を正常に保てば、細小血管障害は予防できることがわかってきました。

糖尿病と大血管障害

糖尿病は細小血管障害の他に、脳梗塞や心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症などの大血管障害の危険因子でもあります。糖尿病の人は、糖尿病でない人の2〜3倍これらの病気になるやすく、実際、脳梗塞になった人の約半数、心筋梗塞になった人の約3分の1に糖尿病がみられます。なぜ糖尿病の人がこれらの病気になるやすいかと言うと、脳梗塞も心筋梗塞も動脈硬化のために血液が流れなくなってしまうからです。糖尿病はその動脈硬化の進行を早めるため、血糖値のコントロールはもちろんですが、血圧のコントロール、コレステロールのコントロールも大切です。

糖尿病と認知症

最近、高齢化に伴って認知症患者の増加が社会問題となつています。特に初老期から発症する「アルツハイマー病」が日本でも急速に増加しています。糖尿病患者ではアルツハイマー病が糖尿病でない人の2.0〜3.4倍という調査結果もあります。アルツハイマー病を「3型糖尿病」とする論文もあります。

糖尿病の予防・早期発見

以上のように糖尿病は放置すると怖い合併症を起こす病気です。しかし、言いかえると「合併症が起っていないければ、単に血糖値が上がりやすい体質」とも言えます。そこで、予防と早期発見が重要です。

糖尿病は早期ではほとんど自覚症状はありません。そこで、健診を毎年受けることが重要です。診断は血糖値で行います。糖尿病型の高血糖が別の日に2回確認されれば、糖尿病と診断されます。ただし1〜2ヶ月の平均の血糖値が分かるHbA1c(ヘモグロビン・エイワンシー)値が6.5%以上の場合や、糖尿病の典型的症状(口渇、多飲、多尿、体重減少)がある場合、確実な糖尿病網膜症がある場合は、1回の検査だけでも糖尿病と診断されます(図2)。糖尿病と診断されても現在は様々な良い治療法がありますので、もよりの医療機関で治療を受けて下さい。

糖尿病の予防のためには食事と運動、肥満の予防が重要です。食事療法では果物や菓子などの過剰な糖質をとることは控え、野菜や海藻などの食物繊維や魚介類をしっかり摂ることが重要です。運動は、やや汗ばむ程度のはや歩きで、1回20分以上、週に3日以上続けることが重要です。通勤の途中で歩

くなど、日常生活に運動を取り入れることが長続きのこつです。掃除などの家事も有効な運動です。市町村の保健センターで「糖尿病予防学習会」を行っていますので相談して下さい。

図1

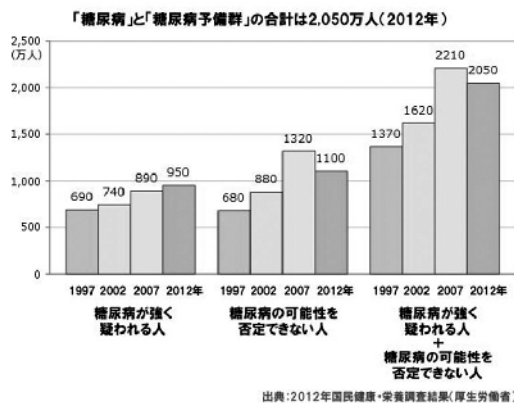


図2

